



Sanpoku SC 2025 R7 report

さんぽく互近所ささえ～る隊 2025-2026 活動報告

02 集落支援員との協同により 地域の集いへ訪問＋やってみる



✔ 持ち寄り文化を生かした〈キッカケ〉のピザ

集落支援員のアイデアで、地域の誰もが使える「ピザ窯」を導入（まちづくり協議会の貸し出し品として）。家庭の素材を持ち寄ればピザになる！地域の集まりのキッカケにもなりうる、美味しいアイデアを、訪問時にも活用できる



R7年度の活用例

地域の親子の集い/北中・集い場への訪問/勝木・念仏見学時/府屋



2025（R7）年度の取り組み

02 集落支援員との協同により 地域の集いへ訪問＋やってみる



府屋集落の念仏（毎月8・24日開催）

江戸時代に建てられたという念仏堂で、地域の先人に教わった「念仏」を機に、継承しながら月に二度集まっている。この集まりを、何より楽しみにしているという90代の女性を含め、8名が参加。

月に一度（24日）は、念仏堂で支度するご飯・お汁と、各自が持ち寄ったもので昼食もみんな一緒に（残りものはお土産に）。手と頭を使う体操や歌も歌って、終始、みんな穏やかで笑顔。この日は、その月のお誕生日の人を祝うシーンも。一人ひとりにとって、間違いなく、大切な機会になっている様子でした。



2025（R7）年度の取り組み

03 集いの機会、支援の形を いろいろな人と考える+取り組む

さんぽく・勝木

茶の間 のような 集い

羽越ランデブー

勝木駅前という立地
しかし、集落センターは
歩いて7-8分かかる距離

避難訓練にも集まらない
駅前の住人をはじめ
放課後を友と過ごしたい
中学生・小学生も
ふらり、集えるような
やわらかい空間を
めざしています

9月から少しずつ準備中

勝木駅前の、借家です
1階の全体を開放できるよう整え中

家の前に小さな庭もあり
みんなで土仕事もできれば嬉しいで



月に2-3回の
集いから

→週に一度の
集いへ

中学校の早帰りの日に合わせ、多世代交流を実施。中学生は宿題・作業の手伝い・遊びを。地域のスポーツ仲間とご近所さんたちは、お茶&おしゃべりを楽しむなど

主な成果と、これからの挑戦



主な成果

- ✓ 地域の支援サービスを一冊にして、支援時や訪問時に声をかけやすくなった
+
ささえ～る隊周知にも寄与
- ✓ 実践する人（集落支援員・地域の世話人さん他）との協同



遭遇した課題や挑戦点

- ささえ～る隊＝「つなぎ役」のさらなる周知を。隊員も一緒に活動して地域課題を共有したい
- ✓ 集落支援員の地域訪問へ同行
 - ✓ 地域おこし協力隊との協同
 - ✓ つなぐ、に止まらない実践も

メッセージ

集落ごとに、困りごとも助けてくれる人の数も 全く状況が異なる。
また、身近な人だからこそ頼みにくい、という実情もありそう。

集落ごとに、助っ人（困っている人をお助けできそうな人）を探りながら
「つなぐ人」だからこそできる支援

〈他の誰かにだって声をかけていいんだよ〉という、やさしい繋がりを
ささえ～る隊だからこそ！積極的に持てる活動を続けたい

つなぐ、だけじゃない。〈一緒に考える・取り組む〉が次年度のテーマです

さんぽく互近所ささえ～る隊